

## 京大同学会委員長・作部羊平君アピール

私が委員長を務める京大同学会中執は、 5月25日に「サミット粉砕」を訴えて京都 市内をデモしました。

サミットに反対することを通して私たちが訴えたかったことは3つです。

一つは、戦争を絶対にとめようということ。沖縄の許しがたい事件は、戦争はどこか遠くで起きているのではなく 目の前で起きていることをはっきりと示しました。沖縄大学から仲間が立ち上がっています。

「これ以上一人の仲間も殺させない」と、誰もが心を 決して立ち上がる時です。

二つには、一部の資本家のために続けられる支配を 終わらせようということ。東京オリンピック贈賄問題、 パナマ文書問題、三菱自動車偽装問題と、すべてが腐っ



ています。私たちは彼らの私腹を肥やす ためだけに生きるのですか? 学生は自 分の未来を疑問視し、怒っています。

三つには、学生や労働者にこそ革命的な力があるということ。政治家や経営者に力があるわけではありません。労働者には社会を動かす力が、学生には未来を創る力があります。高額な学費と学生の可能性を摘み取るだけの場になっている今の大学は根本的に変革しなければなり

ません。

今の社会、今の支配には妥協の余地なく絶対反対。

職場・大学でストライキをやりましょう。 そして、労働者・学生の団結で次の社会を切り開きましょう!

## 全学連

## 全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

【メール】mail\_cn001@zengakuren.jp 【HP】http://www.zengakuren.jp/

## 526 PATTE STEEL



